

アラビア語科

アラビア語を公用語とする国は二十数カ国に達します。

アラブ人(=アラビア語を母語とする人)はふだん方言を話しており、方言は国や地域によって異なります。しかし、彼らが学校で勉強するアラビア語はフスハー(正則語)で、改まった場で話す時や文を書く時に使います。

当講座で学ぶアラビア語はフスハーです。フスハーを勉強すると、アラビア語で書かれたものが読めるようになるだけでなく、学校教育を受けたアラブ人なら、どの国の人も意思疎通ができるようになります。

アラビア語はまず文字を覚えることから始めなければなりませんし、文法がやっかいなため、初学者にとってはハードルが高い言語です。でも、文字は28文字しかありません。文法は規則的です(不規則とされるものも、実はそれなりの規則があります)。いったん文法を身につければ、アラビア語はパズルみたいで、とても面白いです。

受講生からいただいたメッセージをご紹介します。

「アラビア語の勉強は非常に楽しいです。20代のころ勉強していた中国語も楽しかったのですが、アラビア語は更に難しく、更に魅力的です。アラビア文字を読むだけで、まったく未知の世界に誘ってくれます。なんとも言えない不思議な感覚です。」さあ、あなたもアラビア語の世界に飛び込んでみませんか。

<アラビア語の講座>

基礎、初級、中級、上級の4つのレベルがあります。

同じレベルにある2つの講座を同時に受講するセット科目を受講すると、学習効果も上がり、受講料も割引になるので、お時間がある方には週2回受講をお勧めします。(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

【基礎】 アラビア語を初めて学ぶ方を対象とします。文字の学習から始め、基本文法(前半)を習得します。ネイティブ講師が担当する基礎会話講座は、発音やリスニング、会話に重点を置いています。文法は会話スキットを通して学びます。日本人講師が担当する基礎文法講座は、文法の学習が中心で、練習問題をこなすことで文法を身につけます。これら2つの講座は同時に受講することが望ましいですが、週1回しか通学できない方は、まず会話講座を受講して文字や発音に十分慣れた後、文法講座を受講するよう、お勧めします。

【初級】 基本文法(前半)を学び終えた方を対象とし、基本文法(後半)を習得します。動詞の活用と用法が主です。初級文法講座では、文法説明と練習問題を交互に行いながら、文法事項を身につけます。辞書は使いません。初級読解講座では、辞書を引きながら短い文を読みます。基本文法(前半および後半)をしっかり身につけること、辞書を使いこなせるようになることが目標です。これら2つの講座は文法事項面での進度を揃えています。同時受講が望ましいですが、それが難しい場合は、先に文法講座を受けてから、読解講座を受講してください。すでに動詞派生形まで勉強された方は、読解講座を受けていただいてもかまいません。

【中級】 基本文法を習得し終えた方を対象とします。ネイティブ講師が担当する中級会話講座では、会話スキットを繰り返し練習した後、応用練習や作文を行い、話す力、聞く力、書く力を養成します。中級文法・読解講座では、まだ習っていない文法事項を学ぶ他、辞書を引きながら少し難しい会話文を読みますので、辞書のある程度引けることが受講の条件です。

【上級】 上級会話講座では、中級より少し高度な会話スキットをやります。応用練習や作文を通して、話す力、聞く力、書く力を伸ばすことを目指します。上級講読講座では、物語を読んでやや長い文に慣れた後、さまざまなジャンルのテキストを読みます。発音記号(シャクル)のついた平易な文はだいたい読めることが受講の条件です。シャクルつきとシャクルなしの2種類のテキストを用意しますので、ご自身のレベルに合わせて選んでください。

<修了条件>

上級の講座は試験があります。2講座とも合格した場合、アラビア語科講座の課程修了となり、希望者には修了証が授与されます。1学期に1講座ずつ受講をする場合は、期を空けずに連続して残りのクラスを受講し、合格をすることが上級修了の条件となります。

上級修了以上のレベルの人には、特別講座にセミナークラスがあります。特別講座の申し込み詳細は、慶應外語 Web サイトにてご確認ください。

<http://www.flc.keio.ac.jp>